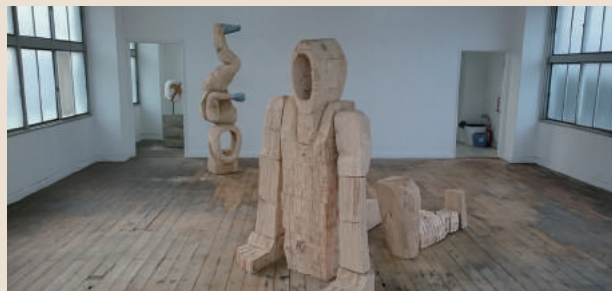


scopeという単語には、「照準器」と「範囲・領域」という意味があります。人はscopeを通して見える景色の中心を見定め、また見えた景色を区切ります。そういったscopeの意味と、私たち個人の研究における「ねらい」や「枠組み」はそれぞれ対応しています。

私たちの研究は研究領域によって区分されますが、本展覧会における意味はそれのみではありません。展覧会タイトルである“scopes”におけるscopeの意味は、私たちが学内で研究する中で生まれた独自性を探求する思いや、各々の観点の違いを含めたもので、私たちの個性とも言える大きな枠組みを意識させるものです。

そのscopeを複数名詞scopesにし、複数の視点を意味づけました。私たちが見据えたねらいと向かい合う際のアプローチの違いを感じていただきたく思います。

鑑賞される皆様にとって、この展覧会が現代における美術工芸の研究意義や可能性を見定める契機になればと願っています。ぜひご高覧ください。



高橋直宏



早川 璃



米田貫雅



千川岳志



李 佳妮

平成29年度 博士後期課程1年 研究作品展「SCOPES」によせて

このたび金沢美術工芸大学は、大学院美術工芸研究科の博士後期課程1年に在籍する美術、工芸領域の7名の研究作品を展示公開致します。博士後期課程は、芸術における表現技術と理論を高度に究め、将来自立して独創的な活動を行う人材の養成を目的としています。在学生は修了時の学位取得を目指して学内外で研究成果の発表を自律的に行うことが不可欠であり、この研究作品展もその一環と位置付けています。

今回の「scopes」と題されたこの展覧会は、7名が油画、彫刻、陶磁、漆芸、染織におけるscopes(視野、照準)によって、自身の研究分野の水平的の広がりや垂直的な深まりを試みながら日々研鑽を積んだ成果物によって構成されます。時代に対する新たな提言を込めた若手研究者の挑戦を感じ取っていただければ幸いです。

金沢美術工芸大学 学長 前田 昌彦

関連イベント

2月15日(木) しいのき迎賓館にて
17時～ ギャラリートーク
18時～ オープングレセプション

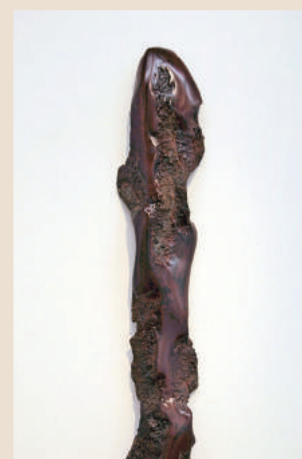
平成29年度 金沢美術工芸大学大学院 博士後期課程1年 研究制作展 SCOPES

千川岳志 | 早川璃 | 米田貫雅 | 高橋直宏 | 李佳妮 | 金保洋 | 前田博子

主催：
金沢美術工芸大学
共催：
石川県政記念しいのき迎賓館
後援：
金沢市、北國新聞社
お問合せ：
石川県金沢市小立野5-11-1
金沢美術工芸大学
TEL 076-262-3531



前田博子



金保 洋